

涙の谷を過ぎるとき 詩篇 84:1-12

2021. 4. 25 (卯月) 丘の上 NO. 656

春日部福音自由教会 山田豊

今月の半ば、ある兄弟が85歳で召され、告別式が営まれました。長男のK君は、前奏のオルガンが響くや否や涙があふれ、式の最後に遺族を代表としてあいさつをする時も、こみ上げてくる涙が止まらず、自分でも何を言っているかわからなくなってしまうと言われました。自分では泣くことはないと思っていたのだが号泣でしたと、斎場から出るときに話してくれました。

このK君のようなことでなくても、涙の谷を通らなければならないときがあるでしょう。また、幾多の谷や山を越えてこられた方もおられるかもしれません。本日の詩篇は、作者が経験した苦しみや悲しみの中で作られ、歌われたものだと思います。そんな中ですが、3つの同じフレーズが出てきます。それは「なんと幸いなことでしょう」という言葉です。

1-4節には、神殿での礼拝にあたり、神の養いと守りがあることに感謝し、賛美をささげる様子が描かれています。石でできた神殿の祭壇に近いところに、雀の巣があり、ツバメの巣があったのでしょうか。私の郷里、高田の街の雁木の軒下には、ツバメの巣があり、親鳥がひなに餌をやる光景が良く見られました。このような小さな鳥にも養いがあるように、私たちは神に守られ、育てられているのです。そのことを知る者は、真に幸いです。

つぎに幸いな人というのは、2-8節にある巡礼者のことです。文字通り聖所、神殿に詣でるということだけでなく、心の巡礼として神に向かって歩むことです。当時の大路は、ガラクタを取り除いて平にし、人の通る道としました。私たちも罪を悔い改めて心をきれいにし、神様にしっかりと向いた歩みをしたいのです。

そして三番目の幸いな人とは、12節にある、神に信頼する人です。10節もまた、神への礼拝の幸いを歌っています。礼拝の一日は、他の千日にも勝る充実した時なのです。現在、コロナ禍の為に、多くの教会では時間的に、またその内容においても制限を強いられています。リモートで礼拝をささげている人もあるでしょう。たとい制限があって礼拝の時間が僅か1時間であっても、1週間のそれ以外の日に勝るものとなっているのでしょうか。11節は、神を太陽としている個所で、このような表現はほかにありません。神は太陽を造られた方で太陽そのものではなく、その温かさや力強さ、また盾のように私たちを守ってくださるという比喻でしょう。このお方に信頼する者は、真に幸いです。

涙の谷を行くとき、そこが泉の湧くところとなるのです。悲しみの谷底につきとされるようなことがあっても、心の巡礼者として神を礼拝し、信頼して進む者は、幸いな人なのです。そこに泉が沸いて、あなたの渇きを満たしてくださるからです。

引用聖句

マタイ 10:29-30 二羽の雀は一アサリオンで売られているではありませんか。そんな雀の一羽でさえ、あなたがたの父の許しなしに地に落ちることはありません。あなたがたの髪の毛さえも、すべて数えられています。

ルカ 12:6-7 五羽の雀が、ニアサリオンで売られているではありませんか。そんな雀の一羽でも、神の御前で忘れられてはいません。それどころか、あなたがたの髪の毛さえも、すべて数えられています。恐れることはありません。あなたがたは、多くの雀よりも価値があるのです。

マルコ 1:3-4 荒野で叫ぶ者の声がする。『主の道を用意せよ。主の通られる道をまっすぐにせよ。』」そのとおりに、バプテスマのヨハネが荒野に現れ、罪の赦しに導く悔い改めのバプテスマを宣べ伝えた。

詩篇 42:1(新共同訳) 涸れた谷に鹿が水を求めるように／神よ、わたしの魂はあなたを求める。

ゼカリヤ 10:1 主】に雨を求めよ、後の雨の時に。【主】は稲光を造り、大雨を人々に、野の草をすべての人に下さる。

創世記 15:1 これらの出来事の後、【主】のことばが幻のうちにアブラムに臨んだ。「アブラムよ、恐れるな。わたしはあなたの盾である。あなたへの報いは非常に大きい。」

詩篇 19:4 しかしその光芒は全地にそのことばは世界の果てまで届いた。神は天に太陽のために幕屋を設けられた。

ヘンリ・ナウエンの言葉

霊の鍛錬はすべての欲望を抹殺することではありません。そうではなく、すべての欲望が互いに仕えあい、一つになって神に仕えるように欲望に秩序をもたらすことです。

(「今日のパン、明日の糧」p. 153)